

移動通信用電界強度推定ソフトウェア「BSPLAN」

陸上移動通信サービスの普及のため、急速にセルラーネットワークが構築された。このセルラーネットワークの設計には、基地局の位置選定やセルのサービス領域解析を必要とした。そこで、1992年（平成4）に、都市内3次元地図データベースを領域ごとにブロック化し、ブロックごとの都市構造を平均的に表現することでデータ量を減らした地形データベースを構築し、さらにパソコン上で電界強度分布を推定できるソフトウェアを構築し、実用化した。各セルのカバレッジを評価できることから、基地局の位置選定が容易となった。

出典：KDD 社史